

平成 16 年 2 月 18 日

国際石油開発(株)(インペックス)  
東京都渋谷区恵比寿 4 丁目 1 番 18 号  
代表取締役社長 松尾 邦彦

イラン・イスラム共和国アザデガン油田の評価・開発に関する  
契約調印について (共同声明)

National Iranian Oil Company (NIOC、イラン国営石油会社)、国際石油開発株式会社 (インペックス) および Naftiran Intertrade Co. Ltd. (NICO、NIOC の子会社) は、本日 2 月 18 日、イラン・イスラム共和国アザデガン油田の評価・開発に係わる契約について合意に達し調印した。

1999 年に発見されたアザデガン油田は、イラン・イスラム共和国クゼスタン州の州都であるアフズより南約 80km に位置する。アザデガン油田の特定エリアの開発交渉は、2000 年 11 月のハタミ大統領訪問より開始された。

インペックスと NICO は、それぞれ 75%と 25%の参加権益で本契約に基づき、イラン国営石油会社NIOCのコントラクターとして、アザデガン油田の評価・開発作業を推進する予定である。

契約上アザデガン油田の開発は 2 つの段階に分かれる。開発第一段階は契約調印後 4 年 4 ヶ月後から日量 15 万バレルの生産を予定し、その後開発第二段階として、契約調印後 8 年 (96 ヶ月) 後から日量 26 万バレルの生産を計画している。なお、契約調印後 3 年 4 ヶ月間で日量 5 万バレルのレベルで生産開始を予定している。

本プロジェクトへの総投資額は、20 億ドルを見込んでおり、この額は、日量 26 万バレルのレベルで 1 年半の生産して得られる収入に相当する。契約上の投資額の回収期間は、開発第一段階では 6 年半、開発第二段階では 6 年となっている。

我々は、本プロジェクトが成功裡に推進され、イランと日本との経済的な関係強化につながり、両国の関係がより一層深まることに貢献することを期待している。